

# 東京2020大会に向けたボランティア体制の構築

## 1 東京2020大会に関連するボランティアの種類

本市は東京2020大会時に、下表のうち「都市ボランティア」と「その他ボランティア」の組織・運営を行う。

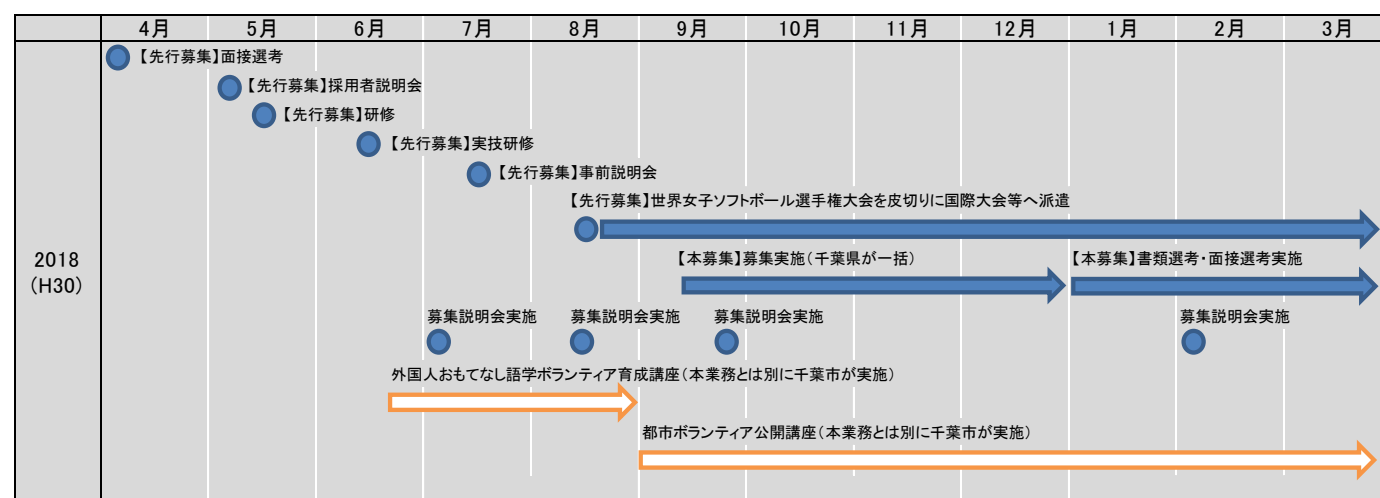
	①大会ボランティア	②都市ボランティア	③その他ボランティア
概要	大会運営（競技会場内など）に直接携わるボランティア	大会期間中、競技会場外において、国内外からの旅行者に対する観光・交通案内などに携わるボランティア	大会に何らかの形で携わりたいボランティア
運営主体	大会組織委員会	千葉県	
活動場所	競技会場内、選手村などの大会関係施設	会場周辺駅、主要駅など	幕張新都心や主要駅など
活動内容	観客サービス、競技運営のサポート、メディアのサポートなど	国内外からの旅行者への交通案内、観光案内など	美化活動や会場周辺の花の水まきなど ※活動メニューはアイデア募集をふまえ検討・実施

## 2 東京2020大会に向けた「都市ボランティア」の育成

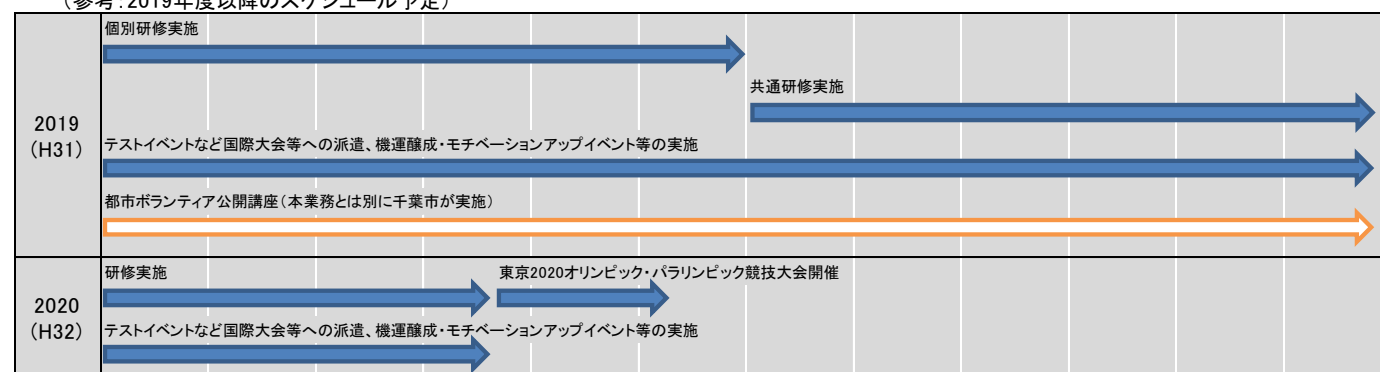
東京2020大会を約2年後に控え、2018（平成30）年度は、いよいよ都市ボランティアの育成段階に入る。

2017（平成29）年度末に本市独自で先行的に募集したリーダー候補者については、各種研修等を経て、2018（平成30）年8月に開催される第16回世界女子ソフトボール選手権大会において都市ボランティアとして活動するほか、その後も各種研修やスポーツの国際大会での実践等を通じ、都市ボランティアに必要な知識・スキル・経験等を積んでもらう。

また2018（平成30）年9月中旬頃を予定している本募集での採用者についても、2019（平成31）年度以降、各種研修やスポーツの国際大会での実践等を通じ、都市ボランティアに必要な知識・スキル・経験等を積んでもらう。



(参考:2019年度以降のスケジュール予定)



## 3 その他の事業展開（主なもの）

### ① 「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」の実施

2018（平成30）年度も、2017（平成29）年度に引き続き、「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」を実施する。

### ② ボランティア公開講座の実施

東京2020大会の開催時に、児童・生徒がボランティアに参加・体験できる仕組みを検討していることから、2018（平成30）年度から2019（平成31）年度にかけ、中学生・高校生の都市ボランティアについての理解を促進することを目的に、市立中学校及び高校にて都市ボランティアに係る講義等を実施する。

### ③ 「その他ボランティア」のアイデア募集

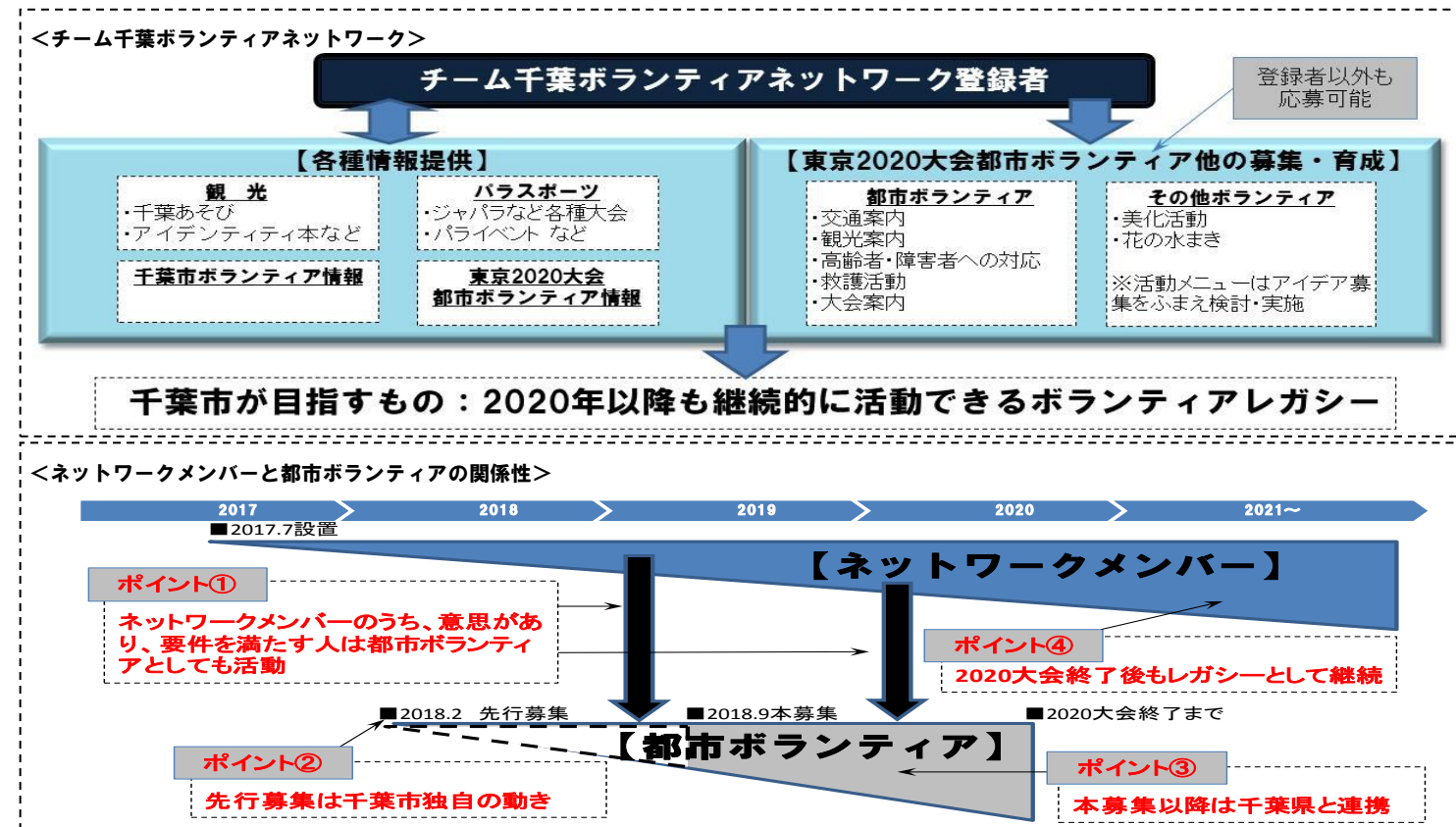
大会ボランティアや都市ボランティアには参加できない（又はしない）方でも、何らかの形で大会に関わることができるよう、「その他ボランティア」の活動内容についてアイデア募集キャンペーン等を実施する。

キャンペーンを通じ応募されたアイデアを集約し、活動内容をメニュー化して提示し、幅広い方々がその他ボランティアとして活躍していただくための環境を整える。

### ④ チーム千葉ボランティアネットワークの運営

東京2020大会に向けたボランティア体制構築のみならず、それを一過性のもので終わらせることなく、2020年以降も街中のボランティアや各種スポーツイベントなどで継続的にボランティア活動を行えるものとするため、様々な企業・大学などとの連携のもと、2017（平成29）年7月に設置した「チーム千葉ボランティアネットワーク」を引き続き運営する。

民間を主体とした事務局体制により、民間のマネジメント力や情報発信力などの様々なノウハウを活用することができ、将来的には本市におけるボランティア文化の中核を担う存在になることを目指す。



## 4 本市が目指すレガシー

様々な主体の連携が必要となる都市ボランティアの形成と運用の経験は、これまで必ずしも一体となっていなかった本市ボランティアの一元化に結びつくものであり、本市におけるボランティア文化の醸成に引き継がれるようなもの（レガシー）とする。